

しずおか 民俗芸能マップ

神楽 | 田楽・田遊び | 舞楽 | 獅子舞 | 虎舞

【協力】静岡県教育委員会・静岡県文化財保存協会

JAバンク 静岡
県下JA・静岡県信連



種類	番号	指定	名称	開催場所	団体名	開催日	連絡先/電話番号	特徴
神楽	1	国	沼田の湯立神楽	御殿場市沼田 子之神社	沼田の湯立神楽保存会	10月最終土曜日	御殿場市教育委員会社会教育課 ☎0550-82-4319	獅子湯立を行う全国的にも珍しい神楽の一つで、湯立を行った翌日に行われる子之神社祭礼とも結びついている。湯立神楽は、境内に据えられた湯立の大釜を巡って獅子が5番の演目を演じ、湯たぶさをもって湯花を神に献上、参詣者も無病息災を祈念して湯花を受ける。
	2	国	大坂の湯立神楽	御殿場市大坂 浅間神社	大坂神楽保存会	7月最終土曜日	御殿場市教育委員会社会教育課 ☎0550-82-4319	獅子湯立を行う全国的に珍しい神楽の一つで、御殿場地方の盆(御厨盆)明けに行われる。カグラと呼ばれる獅子頭を被った者が、幣束や鈴、剣を持って舞い、釜の湯を湯たぶさでかき混ぜて湯花を散らし、無病息災を祈禱する。
	3	県	清澤の神楽	静岡市葵区清沢地区の各神社	清澤神楽保存会	10月上旬～下旬	静岡市文化財課 ☎054-221-1066	安倍川・大井川両流域の20数か所で伝承されている「静岡県中部地方の神楽」の一つ。「湯の舞」「四方の舞」など24の演目を有し、舞台の天井に佳麗に飾られた笠の下で、「序」「破」「急」の三部構成のもとで多彩な舞を演じる。
	4	県	高根白山神社古代神楽	藤枝市瀬戸ノ谷 高根白山神社	高根白山神社古代神楽保存会	10月29日	藤枝市文化財課 ☎054-645-1100	「静岡県中部地方の神楽」の一つで、現在は神迎えから神返しまで、14演目を伝えている。五色の天井飾りのもとで、1～5人の舞人が四方を拝しながら舞う舞・湯立の舞・五行の舞、面をつける演目天狗面の舞・殿面の舞・舞の舞・夜火照の舞などがある。
	5	県	梅津神楽	榛原郡川根本町梅地接岨温泉会館	梅津神楽保存会	1月第3土曜日	川根本町教育委員会社会教育課 ☎0547-58-7080	「静岡県中部地方の神楽」の一つで、伊勢神楽の系統に属し、文獻によると文化14年(1817)から伝存している。川根本町梅地の神楽で、幣の舞、三宝の舞、天王の舞など15番の演目は、神々の舞が多いのが特色。獅子の舞と丸の舞における神職との問答が劇的で面白みがある。
	6	県	川合花の舞	浜松市天竜区佐久間町川合 八坂神社	川合花の舞保存会	10月最終土曜日	浜松市佐久間支所 ☎053-966-0006	奥三河の花まつりに通じる湯立神楽で、「花の舞」呼ばれている。川合八坂神社の社前に農作物などを型どった「舞戸」をつくり、中央に釜を置き湯をたぎらせて、そのまわりで18の次第を舞う。古格を厳に守り、五穀豊穡を祈願する農民の素朴な心情があらわれている。
	7	県	田代神楽	榛原郡川根本町田代	田代神楽保存会	9月・1月	川根本町教育委員会社会教育課 ☎0547-58-7080	「静岡県中部地方の神楽」の一つで、稲作の豊穡を願う田遊びと、湯立神楽であるミサキ神楽で編成される行事である。狩人・駒舞・鹿舞・獅子など珍しい演目があり、仮面の舞も多く変化に富み、最後に仕掛花火祭がある。なお、ミサキ神楽は三地区が年番で舞う。
	8	県	大鍋子守神社の神楽	賀茂郡河津町大鍋 子守神社	大鍋子守神社神楽保存会	10月15日	河津町教育委員会 ☎0558-34-1117	神社境内の神楽殿に神楽を敷き、法の舞と道化の舞を演ずる。いずれも独演による黙劇であり、法の舞では、舞いながら印を結んで五天明王の法文を口中で唱え、悪魔払いの祈禱舞をする。
	9	県	徳山神楽	榛原郡川根本町徳山	川根本町徳山古典芸能保存会	10月第2日曜日	徳山区事務所 ☎0547-57-2843	「静岡県中部地方の神楽」の一つで、伊勢流の湯立神楽の一つ。神寄せに始まり、14の演目を奉納し、神送りまでを連続して演じる。湯伏せ・火伏せ神事を中に入れ、各舞の前に神楽歌を披露する。なかでも火の舞は、見ごたえがある。
田楽・田遊び	10	国	藤守の田遊び	焼津市藤守 大井八幡宮	藤守の田遊び保存会	3月17日	焼津市歴史民俗資料館 ☎054-629-6847	大井川の治水と一年の豊作を祈念して行われ、開墾、田植えから稲刈りまでの農作業の様子を表す25曲の演目と番外から構成される舞。演者は、藤守地区の未婚の青年で、女性用の袴や帯で飾った彩色豊かな衣装を身に付け、頭には「シッコ」と呼ばれる藁笠を被る。
	11	国	西浦の田楽	浜松市天竜区水窪町奥領家 西浦観音堂	西浦田楽保存会	旧暦1月18日	浜松市水窪協働センター(水窪文化会館) ☎053-982-0013	水窪町西浦地区の観音堂別当を中心に、世襲の構成で、稲作と猿楽の曲技からなる地能33番、はね能12番を月の出より陽が昇るまで夜を徹して演ずる。田楽舞の古態を伝える貴重な民俗芸能である。
	12	国	法多山の田遊び	袋井市豊沢 尊永寺	法多山田遊保存会	1月7日	法多山尊永寺 ☎0538-43-3601	法多山の田遊びは尊永寺の修正会の一部とされ、白練、田打ち・牛ほめ、鳥追い、早乙女といった、主な稲作過程を演目として執り行う。稲作の作業は歌詞と簡単な所作、田植えは踊りでそれぞれ表現される。
	13	県	小國神社の田遊び	周智郡森町一宮 小國神社	小國神社田遊び神事保存会	1月3日	森町教育委員会社会教育課 ☎0538-85-1114	起源は遠江一宮神宮寺の修正会の一部であり、素練から鳥追いまで全十二段の構成で、稲作の仕事を一宮の祈願として寿詞を中心に祀す。第七の稲蒔時は、境時として、東は大井川、南は海、西は境川、北は信濃と唱えながら、四方に向かって種をまく。
	14	県	滝沢八坂神社の田遊	藤枝市滝沢 八坂神社	滝沢八坂神社田遊保存会	2月17日に近い土曜日	藤枝市文化財課 ☎054-645-1100	田打ちから稲刈りまでの一年の農作業を模した19演目のうち、子(人形)を産み落とし、あやして喜ぶしぐさをする「孕五子女」の演目が特徴的である。中世に発達した芸能である能や狂言などの要素を伝える演目もある。
	15	県	日向の七草祭	静岡市葵区日向 福田寺観音堂	日向町自治会	旧暦1月7日	静岡市文化財課 ☎054-221-1066	豊稔の繁栄を祈願する踊らずと田遊びの両方を唱える数文が主要な演目。前者は笹竹の囲みを踊り、次いで山鳥の冠を被った少年がめぐる演目で、後者は大太鼓を囲んで祭文を唱え、田圃に見立てた大太鼓の上に米を置き、幣束で鳥追いの所作を行う。
	16	国	寺野のひよんどり	浜松市浜名区引佐町引佐川字寺野 宝蔵寺観音堂(三日堂)	寺野伝保存会	1月3日	浜松市引佐支所 ☎053-942-1112	神楽と田楽の諸演目により構成。三日堂外陣で保存会の人々がひよんどりを唱和しつ、松明を輝かして踊るの順序で、剣・獅子・鬼の舞など13番の舞踊を演じる。特に暗闇の中で3匹の鬼が松明の火を叩く鬼の舞は、豪快にして妖艶な空間を醸し出している。
	17	国	川名のひよんどり	浜松市浜名区引佐町川名 福満寺薬師堂(八日堂)	川名ひよんどり保存会	1月4日	浜松市引佐支所 ☎053-524-1112	潔斎した6人の若者が薬師堂入口に立ち寄り、大松明の火で炙られるひよんどりが序番である。芋の舞と藁人形が小権宜に負われて登場するオプコンなど、子孫繁栄を祈願する。
	18	国	懐山のおくない	浜松市天竜区懐山泰藏院	懐山おくない保存会	1月3日	浜松市天竜区役所まちづくり推進課 ☎053-922-0086	泰藏院の奥にまつられている阿彌陀堂前の一室を舞台として行われる修正会である。神楽と田遊びの18演目によって構成され、田植えの演目では観客も紙笠を被り、俄早乙女となって参加する。
	19	県	三島神社のお田打	三島市大宮町 三嶋大社	三島大社の田祭保存会	1月7日	三島市教育委員会文化財課 ☎053-983-2672	舞臺中央に敷いた薄緑を田所と見立て、男の穂長と婿の福太郎の狂言風の問答と所作を中心に耕作過程を模倣的に演じ、太鼓を雷鳴に擬して夕立の雨を出す。
舞楽	20	国	蛭ヶ谷の田遊び	牧之原市蛭ヶ谷 蛭見神社	蛭ヶ谷の田遊び保存会	2月第2土曜日	牧之原市教育委員会 ☎0548-53-2625	番外2演目を含めた17の演目があり、太刀や木刀を振って祭りの場を清める前半(「四方切り」と、田打ち、田植え、稲刈りなど稲作の様子を再現する後半)に大きく分けられる。楽器の伴奏が無く、境内に焚かれたかがり火の前で演じられる光景は幻想的である。
	21	県	三熊野神社の地固め舞と田遊び	掛川市西大淵 三熊野神社	三熊野神社の地固め舞と田遊び保存会	4月第1土・日曜日	掛川市文化・スポーツ振興課 ☎0537-21-1158	神社拝殿前の舞屋で金鐘刀などを振り、地固め舞を行った後、境内広場で田遊びを行う。馬を出して代を掻き、十数人の青年が早乙女に扮して田植えのさまを演じる。
	22	国	天宮神社十二段舞楽	周智郡森町天宮 天宮神社	天宮神社十二段舞楽保存会	4月第1土・日曜日	森町教育委員会社会教育課 ☎0538-85-1114	古くから天宮神社と小國神社は相対性をもった神社であることが知られており、例祭に奉納される十二段舞楽も両社一対をなしている。社記によれば小國神社と同じ約1300年前に都から伝来したとされ、昔の舞楽の形に伝えている。遠州一宮右方の舞で、表裏の色は青系であり、江戸時代の面や装束が残る。
	23	国	小國神社の舞楽	周智郡森町一宮 小國神社	小國神社古式舞楽保存会	4月18日に近い土・日曜日	森町教育委員会社会教育課 ☎0538-85-1114	社記によれば約1300年前に都から伝来したとされ、天宮神社の十二段舞楽と共に昔の舞楽の形を今に伝えている。国家や遠州一宮の安泰を祈願して行われてきた。天宮神社の右方の舞に対して小國神社は遠州一宮左方の舞で、表裏の色は赤系である。
	24	国	山名神社天王祭舞楽	周智郡森町飯田 山名神社	山名神社天王祭舞楽保存会	7月15日に近い土・日曜日	森町教育委員会社会教育課 ☎0538-85-1114	舞楽から発展した風流の系統を引く舞物。京都祇園御堂の芸能を伝承するものであり、演目は八初見・獅子舞・鶴・獅子・連段舞・龍・蟻舞・優美獅子の全八番。蟻舞は、京都祇園祭の曳山「蟻塚山」の創始である外部家が伝えた舞と言われている。
	25	県	猿舞	島田市東光寺 日吉神社	猿舞保存会	4月第2土曜日	島田市博物館課 ☎0547-36-7967	南北朝時代に京都で行われた猿楽の流れを汲む奉納舞。猿舞の舞人と楽人が池尻の日の吉神社から神輿渡御に供奉し、東光寺境内の舞場で猿面をつけた少年二人が猿の舞・扇の舞・舞を奉納する。猿は日吉神社の使命とされる。
獅子舞	26	国	静岡浅間神社廿日会祭の稚児舞	静岡市葵区宮ヶ崎町 静岡浅間神社	静岡浅間神社廿日会祭の稚児舞保存会	4月5日	静岡浅間神社 ☎054-245-1820	毎年4月1日から5日に行われる静岡浅間神社の廿日会祭の最終日に奉納される。現在伝承している舞は「振鈴」、「納骨利」、「安摩」、「二の舞」還城舞「太平楽」の五番である。
	27	県	獅子舞かんからまち	掛川市下西郷 龍尾神社	かんからまち保存会	10月第2土・日・月 ※3年に一度	掛川市文化・スポーツ振興課 ☎0537-21-1158	掛川大祭における瓦町の伝統的な出し物で、一人立ち三匹獅子舞。龍尾神社の例大祭に奉納、次いで神輿渡御を先導する。三角舞・本舞・戻り三角舞の三部からなり、男社に舞う。
	28	県	焼津神社獅子木遣り	焼津市焼津 焼津神社	焼津神社獅子木遣り保存会	8月13日	焼津市歴史民俗資料館 ☎054-629-6847	東海の荒祭として有名な例大祭の神輿渡御の先頭を行く。雄雌一対の獅子頭からは長い幕が伸び、手鼓舞の小学生の女子が、幕の両側に並んで掛け持つ。江戸由来の木遣り歌を歌いながら錫杖を突いて進み、渡御行列の行く道を清める。
虎舞	29	県	小稲の虎舞	南伊豆町手石小稲地区	小稲来宮会	旧暦8月14日	南伊豆町教育委員会 ☎0558-62-0604	東宮神社の祭礼で上演される。海岸に「虎山」と称する仮設舞台を組み、その上で若者二人が入った虎が豪快に舞う。3番目の演目では、近松門左衛門作の「国姓爺合戦」の主人公「和藤内」が登場して虎を退治する。

※開催日時・詳細等につきましては、各市町の教育委員会へお問い合わせください。

「公益信託 JA・静岡県信連民俗芸能振興基金」による地域の民俗芸能保存・伝承活動への支援

JAバンク静岡では、農協法制定50周年記念事業の一環として平成11年3月に創設した「公益信託 JA・静岡県信連民俗芸能振興基金」により、静岡県内各地の民俗芸能の保存・伝承活動に取り組んでいる団体に対して助成を行い、地域文化活動を支援しています。

助成対象事業 ●民俗芸能の道具、衣装等の修理・新調 ●民俗芸能を次世代に伝えるための記録等の活動 ●民俗芸能伝承のための伝習活動、後継者育成活動 ●諸行事等様々な場を通じての民俗芸能公開活動 ●その他の民俗芸能保存・伝承活動

「公益信託 JA・静岡県信連民俗芸能振興基金」に関するお問い合わせ先 ●農中信託銀行株式会社・営業推進部 TEL.03-5281-1420 ●静岡県信連・総務部 TEL.054-284-9652



しずおか 民俗芸能マップ

鹿島踊 | 盆踊り | 念仏踊 | 祭囃子 | 船行事 | 人形三番叟
裸祭・水祝儀 | 帯祭 | 歌舞伎 | 神事 | 龍勢花火 | 手揉製茶

【協力】静岡県教育委員会・静岡県文化財保存協会



種類	番号	指定	名称	開催場所	団体名	開催日	連絡先 / 電話番号	特徴
鹿島踊	30	県	島田鹿島踊	島田市大井町 大井神社	島田鹿島踊保存会	寅・巳・申・亥年の10月中旬の3日間	島田市博物館課 ☎0547-36-7967	延宝年間(1673~81)に島田宿で疫病退散を祈願して奉納されたのが始まり。3年に1度、10月に行われる島田大祭の御輿渡御の後方を担う。三番叟を先頭に赤い大黒頭巾の鹿島踊が、お籠持ち、鼓持ち、ササラ持ちの行列を組んで踊る。
	31	県	来宮神社の鹿島踊	熱海市西山町 来宮神社	来宮神社鹿島踊保存会	7月15日・16日	熱海市教育委員会生涯学習課 ☎0557-86-6234	相模湾西岸に広く伝承される鹿島踊の一つで、来宮神社の祭典の奉納舞として披露される。白い着流しの男衆によって、円形と方形を組み合わせた隊列を組み、集団踊りが繰り返される。
盆踊り	32	国	徳山の盆踊	榛原郡川根本町徳山 浅間神社	川根本町徳山古典芸能保存会	8月15日	徳山区事務所 ☎0547-57-2843	浅間神社境内で行われる。少年による動物仮装の踊りの「鹿人舞」、少女による阿国歌舞伎を伝える古歌舞伎(小歌踊)を伝承している「ヒューヤイ」、大人の能狂言・地狂言風の「狂言」の3部構成である。
	33	県	妻良のぼんおどり	賀茂郡南伊豆町妻良 妻良の前浜	妻良のぼんおどり保存会	8月15日	南伊豆町教育委員会 ☎0558-62-0604	浜辺に構築した檜上段の太夫座で、楽人が三味線・太鼓・笛を奏し、かつ音頭を取り、若者たちが囃す。花笠を目深に被った婦人たちが櫓の周りをめぐりながら幽雅に踊る。
	34	国	有東木の盆踊	静岡市葵区有東木 東雲寺	有東木芸能保存会	8月15日	静岡市文化財課 ☎054-221-1066	男踊り・女踊りともに多様な演目を擁し、数演目ずつ交互に踊る。天守閣をかたどった張笠を頭に戴いた男性が輪の中に入って中踊りをする。中世から近世に流行した歌と踊りを伝承する古風な踊りである。
念仏踊	35	県	平野の盆踊	静岡市葵区平野 少林院	平野文化財保存会	8月14日(予定)	静岡市文化財課 ☎054-221-1066	男性の踊り・小切子踊り、女性の六つうち切子・くるま扇・かつぎ彫の採物踊りで構成され、女踊りの輪の中に張笠を被った男性が入って踊る。最後に精霊を安倍川の辺へ送る。
	36	県	滝沢の放歌踊	浜松市浜名区滝沢町	滝沢放歌踊り保存会	8月13日	浜松市北行政センター ☎053-523-2903	切子灯籠を先頭に、双盤・桶太鼓など数十人の供回りを従えた一行が新築宅に踊り込んで回向し、最後にヒョットコが大団扇を振りかざして舞い込み、おもしろおかしく振舞う。
	37	県	呉松の大念仏	浜松市中央区呉松町	遠州大念仏呉松組	8月13日・15日	浜松市西行政センター ☎053-597-1117	ヒドロと呼ばれる切子灯籠を掲げるカシラ(頭)が、黒の袷付を着用した衆人と供回りの一行を率いて新築宅を訪れて音楽に和して歌枕を朗誦し、新仏をおごそかに回向する。
祭囃子	38	県	西浦の念仏踊	浜松市天竜区水窪町奥領家西浦	西浦の念仏踊保存会	8月8日・16日	浜松市水窪支所(水窪文化会館) ☎053-982-0013	水窪町西浦地区の上組、中組、下組の各組で伝承されている念仏踊である。新盆の精霊を回向する。初踊り・中踊り・後踊りの三部構成で、数多くの和讃念仏とともに、合間にもさまざまな手踊りを行う。
	39	県	三社祭礼囃子	掛川市西大淵 三熊野神社	三社祭礼囃子保存会	4月第1金・土・日曜日	掛川市文化・スポーツ振興課 ☎0537-21-1158	三熊野神社大祭の宵宮・本祭の両日、地区の「一本柱万度型」の称屋13台が境内に勢揃いして役太鼓を奉納、次いで町内に練り出し、囃子を奏でながら曳き回す。
	40	県	掛塚祭屋台囃子	磐田市掛塚 貴船神社	掛塚祭屋台囃子保存会	10月第3土・日曜日	磐田市教育委員会文化財課 ☎0538-32-9699	貴船神社祭礼日に9台の屋台を運行し、囃子が行われる。信州諏訪の立川流工匠建造の唐破風屋台の中で、神楽囃子・本囃子・御公御囃子・大庭囃子など多様な曲目を奏でる。
	41	県	八坂神社の祇園囃子と祭礼行事	掛川市中 八坂神社	八坂神社祭典保存会	10月第1土・日曜日	掛川市文化・スポーツ振興課 ☎0537-21-1158	宵宮に4区の「一本柱万度型」2輪の山車が祇園囃子を奏でながら区内を練り、神輿渡御に随行する。跳馬と称して流籠馬を行うが、現在は馬に代わって射手が走って射る。
船行事	42	県	三島囃子	三島市川原ヶ谷	三島囃子保存会	8月15日~17日	三島市教育委員会文化財課 ☎055-983-2672	三島大社にて、神事終了後、当番町の山車がお祝いを受け、各々「神楽昇殿」を奉納。次いで市街へ練り出し、夜に再び社頭に集合して競り合いをする。お囃子とシャギリはそれぞれ曲があるが、現在伝承されていない曲もある。
	43	県	富士宮囃子	富士宮市市街地中心部	富士宮囃子保存会	11月3日・4日・5日	富士宮市教育委員会文化財課 ☎0544-22-1187	富士山本宮浅間大社秋の例祭に町方衆(氏子)たちによって奉納される祭囃子。市内の20地区から練り出される山車・屋台が出発した際に行われる、囃子の競り合いは圧巻である。
	44	県	飯津佐和乃神社の御船行事	牧之原市波津 飯津佐和乃神社	飯津佐和乃神社御船神事保存会	9月第2日曜日	牧之原市教育委員会 ☎0548-53-2625	船若と呼ばれる青年たちが、舟唄に合わせて芝罎船・樽船の模型を操作しながら、神輿行列の先供として波津地区を練り歩く行事。明治時代、相良藩の発展に伴い、大江八幡神社の御船行事から独立して始められた。屋台や行列も練り出す勇壮なお祭りである。
人形三番叟	45	国	大江八幡神社の御船行事	牧之原市大江 大江八幡宮	大江氏子会	9月第2日曜日	牧之原市教育委員会 ☎0548-53-2625	船若と呼ばれる青年たちが、舟唄に合わせて芝罎船・樽船の模型を操作しながら、神輿行列の先供として大江地区を練り歩く行事。市内で行われる御船神事の中でも古く、江戸時代中期、田沼意次侯の相良藩主時代から続く伝統的なお祭りである。
	46	県	戸田の漁師踊・漁師唄	沼津市戸田 諸口神社	戸田の漁師踊・漁師唄保存会	4月4日	沼津市文化財センター ☎055-935-5010	戸田の名主・勝呂家が、紀州家より千石船を拝領した際、一緒に伝えられた漁師唄と踊り。かつては漁師の若衆が勝呂家で行っていたが、現在は保存会により沼津神社大祭で奉納される。
	47	県	人形三番叟	賀茂郡西伊豆町宇久須 牛越神社	宇久須地区	11月2日・3日	西伊豆町教育委員会 ☎0558-56-0212	人形唄いが千歳・翁・三番叟の形を謡曲に伴って舞わせ、天下太平・国土安穩・五穀豊穡を祈願する行事である。使われる人形は単に行事の道具としてではなく、神聖なものとして扱われている。
裸祭・水祝儀	48	県	仁科の人形三番叟	賀茂郡西伊豆町仁科 佐波神社	仁科浜連合区	11月2日・3日	西伊豆町教育委員会 ☎0558-56-0212	三人遣いの人形で、頭・左遣い・足とそれぞれ分担する。千歳・翁・三番叟が順に舞い、次に黒髪(髪)をつけた三番叟と千歳が掛け合いをする。天下泰平と長寿を祈願する神事芸能である。
	49	県	海名野神明神社の人形三番叟	賀茂郡西伊豆町 海名野神明神社	勇義社	11月2日・3日	西伊豆町教育委員会 ☎0558-56-0212	伊豆半島には三番叟が数多く伝承されるが、西伊豆町の三番叟は人形が演じる。特に海名野神明神社は、三人で操る三人遣いが普及する以前の「擬突込み式」といわれる操法を伝える貴重な行事である。
	50	県	新井の大祭り諸行事	伊東市新井 新井神社	新井の大祭り諸行事保存会	1月7日(西暦奇数年)	伊東市教育委員会生涯学習課 ☎0557-32-1964	大祭りは二年に一度の祭りで、東町・仲町・西町の三町内が役割を分担して行う。神輿は御船船で東浜から西浜へと海上渡御する。浜辺の御旗所で行われる神事を行い、渡御中は御旗歌が朗誦される。
帯祭	51	国	見付天神裸祭	磐田市見付 見付天神社	見付天神裸祭保存会	旧暦8月10日直前の土・日曜日	磐田市教育委員会文化財課 ☎0538-32-9699	矢奈比賣神社(見付天神社)の祭神が淡路国玉手へ渡御されるのに伴う行事。裸体に腰巻をつけた若者が集団ごとに見付を練り歩き、順次拝殿に飛び込み、「鬼踊り」と称する激烈な練りを展開し、神輿渡御の供をして総社へと向かう。
	52	県	江浦の水祝儀	沼津市江浦住吉神社	江浦伝統文化保存会	1月2日	沼津市文化財センター ☎055-935-5010	若者組を継承する青年会が行う正月行事。前年までに結婚した若者との間で御神酒を交わし、古来より伝わる踊りを踊り、水を掛けて祝福する。
	53	県	島田帯祭の大名行列	島田市大井町 大井神社	島田帯祭保存会	寅・巳・申・亥年の10月中旬の3日間	島田市博物館課 ☎0547-36-7967	大井神社大祭の神輿渡御に伴う近世の大名行列を模して練り歩く。大奴が、両腕に傾いた木太刀に島田宿に奥入れた嫁の丸帯を掛けて御披露する。安産信仰と宿場繁栄の祈りが込められている。
歌舞伎	54	県	横尾歌舞伎	浜松市浜名区引佐町横尾 開明座	横尾歌舞伎保存会	10月第2土・日曜日	浜松市引佐支所 ☎053-542-1112	静岡県西部地方は農民歌舞伎の有数の伝承地で、横尾・白岩地域は開明座という歌舞伎舞台を拠点として、役者のほか三味線・太夫・衣裳・壺・大小道具など全てを自分達の手で行うなど、活発な活動を行う。少年団も組織され、子ども歌舞伎を毎年上演している。
	55	県	一幡神社の御神神事	牧之原市菅ヶ谷 一幡神社	一幡神社の御神神事保存会	2月上旬土・日曜日	牧之原市教育委員会 ☎0548-53-2625	「二十八名」と呼ばれる特定の家だけが伝承する神事。あらゆる刻んだ餅を黄の汁にくるみ、餅の枝に掛けた「御神様」という御神体を作る。そして、御飯屋で1年間祀った後、古例祭の日「御神様」を開いて餅の状態を確認し、その年の豊作の吉凶を占う。
	56	県	桜ヶ池のお櫃納め	御前崎市佐倉 池宮神社	桜ヶ池のお櫃納め保存会	秋・彼岸中日	御前崎市教育委員会社会教育課 ☎0548-29-8735	池宮神社氏子の青年による遊泳団員の奉仕のもとに、信者の奉納による赤飯を詰めたお櫃を池の中心まで立泳ぎで運んで水中に沈める。無事にお櫃が納まれば神が願意を受納された証とされる。
神事	57	県	由比のお太鼓祭	静岡市清水区由比町屋原 豊積神社	豊積神社お太鼓祭り保存会	1月1日	静岡市文化財課 ☎054-221-1066	祭り唄を唱和しながら太鼓をたたき、町内を練り歩く。豊積神社の拝殿に集合し、町内巡行へと出発する「渡り初め」。結婚など祝い事があった家でお太鼓を披露する「入れ太鼓」。祭りの最後に若者が太鼓を担ぎ、清めの水を浴びながら太鼓を打ち鳴らす「送り太鼓」がある。
	58	県	ヤマメ祭り	静岡市葵区田代 諏訪神社	諏訪神社氏子会	8月26日~27日	静岡市文化財課 ☎054-221-1066	田代諏訪神社の例祭に献儀される神饌「ヤマメずし」(熱れずしの原形)調理に関する民俗行事。「魚釣り祭り」が8月20日に行われ、25日にヤマメずしの調理が行われる。
	59	県	女河八幡宮例大祭神事	湖西市新所 女河八幡宮	女河八幡宮氏子会	10月第2日曜日	湖西市文化観光課 ☎053-576-1140	例大祭の神事として、「巫女ト」「十列見」「流籠馬」「神楽」「相撲」など個性的で多様な内容の祭事が行われる。秋の収穫感謝とともに、翌年の農耕予祝が重層的に祈り、祝われる珍しい神事である。
龍勢花火	60	県	草薙神社龍勢花火	静岡市清水区草薙 草薙スポーツ広場	草薙神社龍勢保存会	9月20日に近い日曜日、祝日	静岡市文化財課 ☎054-221-1066	草薙神社の秋の祭りで献儀される。龍勢花火は、火薬を詰めた筒を長い竹の先につけて打ち上げる花火。発射台となる高い櫓を設け、花火の演目が独特の口上で紹介される。
	61	県	朝比奈大龍勢	藤枝市岡部町新舟・殿	藤枝市朝比奈龍勢保存会	2年に1度10月中旬	藤枝市文化財課 ☎054-645-1100	六社神社の例祭に献儀する行事として、岡部町の朝比奈川中・上流地域に伝来した。黒色火薬を詰めた竹製の吹き筒に、竹で作った長さ約10メートルの尾をつけた龍勢花火を、口上とともに高さ約20メートルの打上櫓から発射する。落下傘で降下する間に、仕掛け花火が順次放出され、龍が舞うような姿をみせる。
手揉製茶	62	県	手揉製茶技術	県内各所	静岡県茶手揉保存会茶匠会	通年	静岡県茶手揉保存会 ☎054-272-2714	手揉製茶は蒸し下揉み・中上げ・仕上げ・乾燥の5工程を経て完成までに約4~5時間を要する。仕上げ揉みには「揉切り・転揉採み・こり」の操作があり、茶葉の特徴に応じて各流派の技法(手使い)が異なる。

※掲載団体は令和6年8月時点の国・県指定無形民俗文化財保護団体を掲載したものであり、「公益信託 JA・静岡県信連民俗芸能振興基金」は掲載団体の多くに助成しています。

※開催日時・詳細等につきましては、各市町の教育委員会へお問い合わせください。